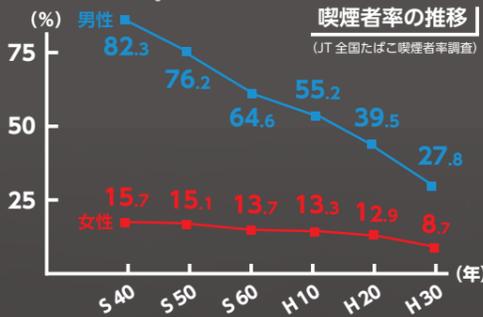


世界から見た日本のたばこ

WHOは医療機関や学校、交通機関など、人が多く集まる場所8カ所で禁煙義務の法律があるか調査。4段階評価で日本は最低レベルに分類されています。全面禁煙する国は2016年時点で55カ国。東京オリンピック開催に向けて早急な対応が求められています。



昭和40年には8割を超えていた男性の喫煙率。禁煙意識の向上やタバコ価格の上昇、分煙の規制などさまざまな影響を受け、現在3割を切るまで減少している。

たばこの新ルール

健康増進法の改正で4月から「屋内が原則禁煙」

2020 4/1 全面施行

2018年7月に改正された健康増進法。分煙室の設置や屋内の原則禁煙など、望まない受動喫煙の防止は「マナー」から「ルール」に変わりました。昨年7月から、学校や病院での原則敷地内禁煙が始まるなど、段階的にスタート。今年4月に全面施行され、パチンコ店や居酒屋など、これまで当たり前のように吸えていた施設でも原則屋内禁煙になりました。その背景には、たばこの先端から出る副流煙のり

スクにあります。有害と言われるタールやニコチンは、喫煙者が吸い込む主流煙の2倍と言われ、子どもや妊娠中の母体には特に危険な存在。吸わない人をタバコの危険から守るために法律によって整備されました。タバコに含まれる有害な科学物質は4千種類以上。体に悪いと分かっているにもかかわらず理由が含まれる「ニコチン」の強い依存性にあります。禁煙に成功したからと言って、つい



飲食店や居酒屋も禁煙に

飲食店や居酒屋も原則屋内禁煙で、別途喫煙室を設置しなければ喫煙できません。

喫煙率が高いパチンコ店も

喫煙率が50%を超えるとされるホール内も禁煙に。喫煙室設置などの分煙対策。

公共施設や病院、学校など

屋内は原則禁煙となりました。病院など敷地内も全面禁煙の施設が増えています。

※シガーバーなど喫煙サービスが目的の施設は一部例外となります

Check Point

公共施設や病院はもちろん、飲食店や居酒屋、パチンコ店なども原則屋内禁煙になりました。

タバコは依存症 やめるには強い意志が

7年前、妻の妊娠を機に禁煙を決意。1日2箱吸う愛煙家だったが、妊娠中の母体に悪影響と聞き禁煙外来を受診。薬を服用しながら禁煙に成功した。家族がいたから禁煙できたと言います。妻と田代麗に住む2児の父。



子どもが生まれて禁煙を決意 田原 康隆さん(35)

吸ってしまった1本で、そこから再度吸い始める人も少なくありません。7年前、妻が2人目を妊娠したことで禁煙を決意した田原さん。それまで毎日2箱吸うほどの愛煙家でした。「長男が生まれたときはまだ吸っていましたが、生後、乳製品アレルギーと分かり、タバコが直接の原因ではないとしても不安になったんです。2人目にもしものことがあったら」。早産や流産など母体にも影響があること知り、禁煙外来を受診したそうです。「吸いたいと思う日もありませんが、それでも吸ったらやめられないと思う。それくらい依存性が強い」と振り返り、家族の笑顔を見るたびにやめてよかったと実感か湧くと話してくれました。

飲み忘れた「残薬」は年間500億円以上にも

飲み残した薬

飲み残しなどで余った薬を「残薬」と呼びます。その費用は年間500億円以上とも言われ、ムダな医療費を支払うことに——。飲み間違いの危険にもつながります。

鹿児島県薬剤師会が残薬解消に向けて取り組む「そうだんバッグ」。病院や薬局でもらえるので、自宅にある薬を全部入れて薬局に持参してください。



期限切れや重複する薬などを確認。整理してもらえます。

おくすり整理そうだんバッグ



肝臓部医師会立病院 薬剤室 山下 智博 室長

年々増加し続ける医療費。その原因のひとつが処方される薬です。もちろん病気を治すため、症状が悪化しないために処方されますが、飲まれずに家で眠っているとされる「残薬」は年間500億円にも上ります。「残薬のほとんどが高齢者。10種類以上の薬を服用している方もいますが、1人世帯や認知症など、さまざまなケースで管理ができず、結果として「残薬に——」と現状を話すのは肝臓部医師会立病院薬剤室の山下室長。医療費のムダはもちろんですが、本来飲まなければいけない薬が飲めていないことで症状が改善せず、その結果、薬の変更や追加といった悪循環になっています。「さらに危険なのは、使用期限の切れた薬の服用や、重複服用が命の危険に関わること」と残薬が増え

飲み残した残薬が医療費を圧迫

「ハシゴ受診」「時間外診療」は財布にも体にも大きな負担が 適正受診で負担減

こんなに差が…

「医療費の負担増」

(例) ハシゴ受診しなかった場合

1回目…初診料 2,880円 + 検査料等
2回目…再診料 730円
3回目…再診料 730円

初・再診料の合計 **4,340円**

ハシゴ受診した場合

1回目…初診料 2,880円 + 検査料等
2回目…初診料 2,880円 + 検査料等
3回目…初診料 2,880円 + 検査料等

初・再診料の合計 **8,640円**

さらに検査回数分で差額は大きく。お金も体にも負担が…

「早めの受診を」

時間外診療の割り増し額

時間外…初診料 +850円
深夜…初診料 +4,800円 (22時～翌朝6時)
休日…初診料 +2,500円

やむを得ないとき以外は時間内受診を

続けることに危機感をにじませます。「残薬があることを言い出しづらい。隠す患者さんもありますが、本当に大切なことは、飲んでいないことを私たちが把握して、適正な治療につなげる」と力を込めた山下室長。薬は処方目的ではなく、飲んでこそ初めて効果が発揮されます。しかし、高齢者など自分で管理や把握ができない人も増えているのが現状。そのため、昨年からは医療機関や薬局のほか、福祉施設などの関係機関が、入退院時に服

用している薬の情報を共有する多職種連携もスタートしました。また、残薬解消に向けて県薬剤師会では「お薬整理そうだんバッグ」を配り、残薬解消に向けた取り組みも進めています。「まずは自宅の薬を全部入れて持参してください。期限切れの薬は処分し、重複服薬の危険がある場合は整理する。一包化するサービスもあるのが相談してほしい」と話す山下室長は、かかりつけ薬局を持つことも医療費の負担を減らす第一歩と訴えます。